

なかがわ

広報

2016. 3



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.126

- 子育て支援課を新設します 2
- マイナンバーQ&A 4
- まちづくり審議会委員を募集します 6
- 地域おこし協力隊活動報告会を開催します 6



第6回南那須小学生駅伝大会
(大桶運動公園)



企画展

秋山庄太郎写真展「遊写三昧 花-365日」より

秋山庄太郎氏(1920～2003)は昭和を代表する写真作家。秋山氏は13歳の頃に親友の兄から勧められ

たことを契機に写真に目覚め、女優や風景、人形、作家など様々なモチーフを撮影し、写真家として活躍しました。

今回ご紹介する作品は組写真「遊写三昧 花-365日」より112番。淡いピンクの牡丹を撮影した写真作品です。本作品は栃木県鹿沼市で撮影され、ぼかしを生かした表現によって幻想的な印象を持っています。秋山氏が牡丹だけでなく薔薇やチューリップなど花の撮影をライフワークとしたのは40歳の頃。それ以降、撮影で巡った地はスタジオがある東京都だけに収まらず、福島県や静岡県、広島県など。栃木県内においては鹿沼市や日光市。日本全国の花の姿を追い巡りました。

秋山氏は屋内外問わず花を撮影し、本作品もそのひとつです。屋外撮影の場合、一般的には「手ぶれ」を防止するため三脚を使用します。しかし、秋山氏はその三脚を使用せず撮影をしていました。その理由は、三脚の使用によって撮影に妥協を生じさせない、シャッターを押す瞬間まで構図にこだわりたい事にありました。また本作品のようにソフトフォーカスレンズによって被写体をぼかし、幻想的に見せる技法は「遊写三昧 花-365日」でも多用されています。

このように秋山氏は約40年の歳月をかけて、絵画を描くように、自身のこだわりを持って花など様々な被写体を写しま



「遊写三昧 花-365日」より112番 秋山庄太郎

した。しかし、83歳に東京・銀座の写真審査会場で急逝してしまします。まさに写真に捧げた生涯だったと言えるでしょう。

馬頭広重美術館 学芸員 山内 れい

【会 期】 4月17日(日)まで

【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は午後4時30分まで)

【ミュージアムトーク】

3月20日(日) 午後1時30分～

秋山庄太郎写真美術館 館長 上野 正人氏

【休館日】 月曜日、祝日の翌日

【入館料】 大人 500円(450円)
高・大学生 300円(270円)

※()は20名以上の団体料金。

※中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

平成26年度

那珂川町観光写真コンテスト受賞作品



入選 「花に誘われて」

撮影者：森嶋 新勝さん(茨城県常陸大宮市)

平成28年度那珂川町観光写真コンテスト 作品募集のお知らせ

那珂川町観光協会では、那珂川町の自然や名所、まつりなどの観光行事をテーマに季節感あふれる「那珂川町」の観光写真を募集します。

表彰 最優秀賞 1点 賞状及び賞金5万円
優秀賞 2点 賞状及び賞金3万円
入選 5点 賞状及び賞金1万円 など

応募規定 1月1日から12月31日までに那珂川町町内を撮影したもの

応募期間 平成28年12月1日から平成29年1月15日まで
その他 詳しくは下記へお問い合わせください。

問い合わせ 那珂川町観光協会 ☎0287-92-5757

